

## 福田病院ニュース



小児科医師  
副総病院長  
三瀬 浩

熊本大学病院新生児学寄附講座を退職し、今年4月から働いております三瀬 浩（みつぶちひろし）です。福田病院には30年以上前から非常勤でお世話になっております。また、娘や孫も数多く当院で生まれております。お世話になった当院に恩返しするつもりで、老体にムチと飴で頑張りますのでよろしくお願いいたします。専門は小児希少難病・遺伝病ですが、虐待、不登校、神経発達症もかかわっておりますので、お気軽にご相談ください。趣味はお酒と下手なゴルフです。よろしくお願いいたします。



産婦人科医師  
森 涼子

4月より専攻医1年目として入職致しました、森涼子と申します。出身は福岡で、研修医の2年間は大阪府で過ごしました。臨床研修では主に外傷対応をメインとした救急医療や整形、形成外科をバリバリとやらせて頂いておりました。産婦人科医としてはひよっこで、大変未熟の為、皆様にはご迷惑やお時間おかけすることも多々あると思いますが、暖かい目で見守って頂けると幸いです。「コウノドリ」の下屋先生のような明るく元気で患者さん思いな女医さんになれるように頑張りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

4月から来た  
先生です。



小児科医師  
山本 隼吾



小児科医師  
村端 亮

## まつばせレディースクリニック、菊陽レディースクリニック増築棟完成

まつばせレディースクリニック、菊陽レディースクリニックの竣工式が4月1日に行われました。



まつばせレディースクリニック



菊陽レディースクリニック



まつばせレディースクリニック病室



菊陽レディースクリニック レストラン



菊陽レディースクリニック外来中待合室

## 救急シミュレーションを行いました

令和5年度2回目の救急シミュレーションが本館5階のMFICUにて3月4日に行われました。

今回のテーマは、「食物によるアナフィラキシー」でした。シナリオは参加した方々に事前に周知していましたが、実際の現場の動きに則した対応、動きができるかを確認する必要もあり、主催者としてシナリオにない緊迫した状況を演出するよう心掛けました。

いくつかの問題点、改善点も確認できたため、とても有意義なシミュレーションとなりました。

「急変は忘れた頃にやってくる」

もしものための準備に救急委員会が少しでもお手伝いできればと思っています。



## 無痛分娩勉強会を開催しました

3月12日に第2回無痛分娩勉強会「急変対応について」を開催しました。受講者は、当院、関連施設も含め54名でした。はじめに杉田先生による無痛分娩についての講義があり、院長はじめ医師、助産師を含む7名のインストラクターによる無痛分娩時の急変対応のシミュレーションを行いました。

受講者からは、日頃の疑問、質問が多数あり、有意義な勉強会になったと意見がありました。2023年に無痛分娩を実施した件数は1211件、全出生数の31.7%でした。多くのスタッフの協力により、安全な無痛分娩対応ができています。今後も、組織全体で学びを深め、多職種、協働を図り、安心、安全な無痛分娩の対応ができるよう取り組んでいきます。

